

平成27年度 第2回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:平成 27 年 8 月 31 日(月)

午後 2 時 00 分～4 時 00 分

場所:摂津市役所 西別館 2 階 第 6 会議室

出席委員: 8 名

欠席委員: 2 名

事務局: 6 名

1.辞令及び委嘱状交付

- ・各委員へ協議会委員の辞令及び委嘱状を交付。

2.教育長挨拶

3.協議会委員、教育委員会事務局職員の紹介

4.会長及び副会長の選出

- ・任命・委嘱期間は平成 27 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日まで。
- ・会長と副会長を互選により選出。

5.会長挨拶

6.案件:(1)摂津市民図書館等協議会について

(2)市民図書館等モニタリング評価方法について

(3)第 3 次摂津市子ども読書活動推進計画の実施予定について

(4)その他

(1)摂津市民図書館等協議会について

(事務局) 摂津市民図書館等協議会条例に基づき、図書館等協議会について説明。

(2)市民図書館等モニタリング評価方法について

(事務局) モニタリング評価方法について説明。

(委員) 評価基準について教えて欲しい。

(事務局) 主観で 5 段階評価していただきたい。

(3)第3次摂津市子ども読書活動推進計画の実施予定について

(事務局) 第3次摂津市子ども読書活動推進計画の実施予定について説明。

(4)その他

(委員) 8月28日(金)～30日(日)開催の「さわる絵本展示イベント」は、もう少し開催期間を長くできなかったのか。

「さわる絵本のパーツ作りの体験会」のお知らせを見て、子ども向けだと思ったが大人も参加できたのか。

(事務局) 大阪市立図書館を拠点にボランティア活動している「さわる絵本の会 つみき」さんのイベントは他市からも人気でひっぱりだこということもあり、開催期間の延長が難しかった。

配布したチラシには大人も参加可能の記載がなく、利用者から問い合わせがあり、その後文言を追加した経緯がある。

今後、イベントのお知らせの文書はもっとわかりやすくしていきたい。

(委員) さわる絵本とはどういうものか。

(事務局) いくつか形態はあるが、布で作られたものが多く、フェルト生地などで作られたパーツの中に綿などを入れて立体的に絵が表現されている。

視覚障害者の子どもが手で触って何の絵か分かるような作りになっているのが特徴である。

(事務局) 市民図書館2階の読書ラウンジに、カフェ形式のコーヒーの自動販売機が入りましたので、またご利用ください。(8月1日設置)

(委員) 読書ラウンジは、私語厳禁なのか。

(事務局) ゆったりくつろいでお話ししたり、飲み物を飲んだり、調べ物をしたり、読書などをするスペースとしてご利用ください。

(事務局) 6月の広域利用者数について。

吹田市立千里丘図書館(以下「千里丘図書館」と言う)と摂津市民図書館それぞれの相互利用者数の報告をする。

- (委員) 千里丘図書館の書架にある蔵書数が少なく、CDが古い。
対面返却のため、返却カウンターで図書館スタッフが資料の状態を確認してから返却処理をした後、利用者が決められた一時返却場所に図書を置きに行くので、とても時間がかかる。
- (事務局) 千里丘図書館の蔵書数は約7万冊で、市民図書館の蔵書数は約14万冊である。書架にスペースがあるのは予約の方に回っているためだと思う。
CDの所蔵場所は開架書架と書庫があり、新しいCDは書庫に入っているため、借りたいCDがある場合は利用者OPACで検索して、所蔵があれば図書館スタッフに尋ねていただきたい。
対面返却は利用者と一緒に返却図書の確認をするので誤返却や紛失を防げたり、汚損の確認を取りやすいといったメリットがある。
また、デメリットは時間がかかることであるが、総合的にみればメリットの方が大きいと思う。